

# ＝＝＝クラブ紹介＝＝＝

《このコーナーでは、ガバナー公式訪問で訪れたクラブについてご紹介します》

## 横手ロータリークラブ

会長 伊藤 孝憲      幹事 近 正信



1957年の創立で、53周年を迎えた。横手セントラルホテルが例会場で、例会は毎週水曜日 12時30分から13時30分に開催されます。例会を開始する時に国歌、ロータリーソングが歌われるのはどこのクラブでも行われていますが、横手ロータリークラブでは旗手を務める方が指名されて、国歌斉唱中は旗手が国旗を掲げています。会員数は2010年7月1日現在38名で、チャーターメンバーが1名おられます。

委員会構成は4大奉仕委員会を中心としていますが、クラブ奉仕委員会の中に、ゴルフコンペ担当、麻雀担当、炉辺会担当、旅行(研修・奥様)担当がおられます。年間活動計画の中でもゴルフコンペが2回、会員研修・奥様旅行と奥様親睦旅行が各1回、炉辺会が3回と予定されています。特に炉辺会は親睦活動の重要な部分なので新旧世代の密接な心の交流の機会にしたいとされており。また、クラブ奉仕委員会の中に家族委員会という小委員会を設けています。この委員会は、退会された元ロータリー会員、亡くなった会員の奥様方との親睦と交流を図る目的で設置されているようです。

県立平成高校インターアクトクラブへの支援活動は、本年度は第45回年次大会のホスト校でもあり、弾みをつけて取り組んでいきたいとしております。

横手南ロータリークラブ、横手東ロータリークラブとの3クラブ合同での水資源「鮭のぼる川」稚魚放流事業も第6回事業として継続される予定です。さらに、横手ロータリークラブの今年度の新規事業に「水資源の保持」として地域や環境に興味や関心を持たせる意味から、横手市立横手南小学校児童に「清水沢のホタル」の調査・研究を委嘱します。これは年間5万円の助成を行い、3年間の継続事業で、ジュニア活動を通して家庭及び地

域にロータリーへの関心を高める等の発想の転換を図ることもねらいの一つと考えて行われます。

